

尾張旭市の男女共同参画社会の 実現に向けての意見書

平成27年8月

尾張旭市男女共同参画審議会(第1期)

尾張旭市男女共同参画審議会（第1期）を終えて

尾張旭市男女共同参画審議会は、平成26年4月に施行された「尾張旭市男女共同参画推進条例」に基づいて発足しました。

審議会としての最初の取り組みは平成26年度に終了を迎える「尾張旭市男女共同参画プラン」に引き継ぐ「第2次尾張旭市男女共同参画プラン」を策定することでした。

最初の取り組みとはいえ、審議会のメンバーの多くは「男女共同参画プラン推進懇話会」を経験し、プランの基礎調査である「市民意識調査」に携わってきました。そのため、男女共同参画を推進するには法律や制度だけでなく、家庭や職場、地域などのさまざまな分野で男女平等意識の浸透を図り、性別にかかわらず女性も男性も安心して生活し、活躍できる環境をつくる必要性をメンバー全員の共通認識としてきました。

さらに、メンバーは、地域の団体やサークルで活動している者、仕事と子育ての両立に日々奮闘している者、県のプラン策定に携わった者、企業や福祉の現場で活躍している者など、さまざまな立場と背景をもつ一人ひとりでした。女性の立場、男性の立場、父親として、母親として、企業人として、働く者として、若い世代として、年配の世代として、率直で前向きな議論を重ねてまいりました。

審議会のこうした議論及び市民意識調査の結果から、地域防災への女性の参画とワーク・ライフ・バランスの実現が男女共同参画の推進には重要であることが明らかになりました。

このことから「第2次尾張旭市男女共同参画プラン」では、尾張旭市の地域性もふまえて男性の家事・育児参画や地域での女性の参画を後押しする社会環境づくりと数値目標を取り入れました。

そして、プランの実効性を高めるために、施策の内容について評価することが課題として挙げられました。

第2次プランは策定されましたが、男女共同参画を推進するには、行政はもちろん市民、事業者、教育関係者、関係団体などの地域全体が推進主体として展開していくことが望まれます。

審議会の一人ひとりも地域社会の一員として、尾張旭市の男女共同参画の推進に携わり、男女共同参画社会の実現を期待したいと思います。

平成27年8月

尾張旭市男女共同参画審議会(第1期)会長 松田照美

1 第2次尾張旭市男女共同参画プランについて

尾張旭市では、男女が真に対等な市民として、性別に関わらず持てる力を発揮し、それぞれが人権を尊重する、男女共同参画社会の実現に向けて、平成17年に「尾張旭市男女共同参画プラン」を策定し、平和で豊かな地域づくりと誰もが喜びと責任を分かち合えるまちづくりを通して、様々な施策が展開されてきました。

男女共同参画をさらに推進するにあたり、市、市民、事業者及び教育関係者が協働して様々な課題解決に積極的に取り組み、まち中に元気があふれ、市民一人一人が輝くまち尾張旭市を実現するため、平成25年12月に「尾張旭市男女共同参画推進条例」が制定され、平成26年4月に施行しています。このたび、これまでの「尾張旭市男女共同参画プラン」が平成26年度で終了することから、同条例の基本理念に基づき、「第2次尾張旭市男女共同参画プラン」が策定されました。

今後の本市における男女共同参画のさらなる推進を期待します。

2 平成26年度男女共同参画プラン関連事業の進捗結果について

- 男女共同参画の主管課である市民活動課、健康課にて未実施の事業が多く（特に性と生殖に関する健康の関係）、早い段階で事業と担当課が適切に設定されているかどうか見直しを行う必要があったと思われる。
- 実施済みの事業であっても、その事業内容について評価する必要があると思われる。
- 2次プランにおいては、具体的な評価が取りやすいよう変更が行われているので、これまでのプランにおいて実施済みと評価した事業においても、引き続き取り組めるよう意識されたい。
- 事業1-3-1（家庭・地域・職場における見直し方の紹介）、事業2-2-1（市民団体への啓発）においては特化した取り組み、具体的な評価は行えていない点で未着手扱いされているが、実際、自治会活動ガイドブックの作成にあたっては男女共同参画の視点を意識していたので、完全な未着手評価しなくてもよいと思う。
- すでに実施している事業において、内容について評価する視点を27年度以降のプラン推進に向けて考えなければならない。
- 事業結果でパンフレットを設置したという報告が散見されるが、設置したことによる一定の評価が必要になると思われる。パンフレットを置くにあたっては、内容によって必要な人が手に取れる工夫を行うべきだと思う。いろいろなパンフレットを乱雑に置いても効果は薄いので、目に届きやすい環境をつくる等、工夫をされたい。

3 平成26年度男女共同参画プラン関連講座等について

- 男女共同参画職員研修は管理職以下の若い人職員にも受けてもらうべきだと思う。

(平成26年度の研修対象者が市長、副市長、教育長、部長級、部次長級及び課長相当職以上の管理職であったため → 5か年で全職員を受講対象としている。)

●職員研修について、ワーク・ライフ・バランスという内容であれば、全職員に同じ内容を伝えるのではなく、子育てや両親の介護など、受講者の年代ごとに問題は様々であるため、それぞれの世代にあった内容が受講できるよう意識されたい。

●職員出前講座(あゆネットセミナーと共催)は自分も参加し、とてもわかりやすかったと思う。男女共同参画フォーラムでは文化会館あさひのホール定員300人中60人の参加者であった点は、周知不足であったと考えられる。また、イベントの際は、他部署の催事と日程が重ならないよう、内部調整を図るべき。

●フォーラムや講座等、充実した内容を企画しているにもかかわらず参加者が少ないので、広く周知するよう工夫されたい。

●周知方法については、広報誌やホームページ、チラシのみではなく、各種団体の集まりの際、PRしてはどうかと思う。

4 平成27年度男女共同参画プラン関連講座等について

●すでに実施した講座もあるが、男女共に参加しやすい内容が多く見受けられる。

●職員研修の参加率が低く気掛かりである。

●尾張旭市の条例が広く周知されるよう、教育委員会と協働で子供向け条例解説リーフレットの作成を検討されたい。

●図書館、災害対策室、ボランティアなど、連携で事業に取り組むことは素晴らしいことだと感心し期待している。

●新任教職員の研修に市が参加することを1つのきっかけとし、教育委員会と共に事業展開されることを望む。

●自治会で開催した防災講話では、災害時に女性に負担を強いる事例が数多くあったと聞いた。「女性視点の防災対策」は真摯に受け止めるべきテーマであると感じる。

●職員や従業員に対して、事業主は、休暇の取り方や休暇制度の周知を行っていくべきだと思う。

●「女性視点の防災対策」では、地域防災に携わる方に男女共同参画について知ってもらうだけでなく、多分野に男女共同参画の視点が広がっていくことを期待している。

●昨年度の男女共同参画推進フォーラムでは、他のイベントと日程が重なった。今年度開催の際は、他のイベントとの重複を避けての日程決定を希望する。

5 その他

●条例の制定、第2次プランの策定に関わり、自分の中で男女共同参画への意識が変わ

っていくのを感じた。今後は女性が働きながら子育てができる環境をつくっていききたい。

●至らない発言も多かったと思うが有意義な会であった。

●尾張旭の子育てサークルの代表として参加してきましたが、こういった会議に参加する経験は少なく、緊張しながらの参加であった。

●社会福祉協議会においても地域の方と一緒に、男女共同参画の考えの浸透を進めていきたい。いろいろな経験と勉強となった。

●婦人会の考え方の原点には男女共同参画の理念がある。今後は女性が自分の力を十分発揮して、能力のある方が市長、知事、議員といった指導的立場で活躍できる社会となることを期待している。

●仕事と子育てを両立して生活する当事者として、冷静な判断や客観的にみることができない場面もあったが、とてもいい経験であった。審議会が終わった後も、尾張旭の男女共同参画に携わっていききたい。

●孫ができた事を機に初めて子育てに関わったが、それにより現状の制度への問題点に気づかされた。今後もよりよい審議会が行われていくことを祈っている。

●懇話会、審議会と参加したが、地域で活動をしている人と関わりを持つことができうれしく思う。また何かあれば参加させていただきたい。

●審議会の皆様の知恵と前向きな姿勢に沢山助けていただいた。尾張旭市の男女共同参画2次プランは実際的なものが出来上がったと思う。今後のプラン進行に期待したい。

以上

尾張旭市男女共同参画審議会(第1期)開催状況

平成26年度

回	開催日	内容
第1回	平成26年 9月2日(火)	・ 第2次尾張旭市男女共同参画プラン施策体系及び骨子案についての意見交換
第2回	平成26年 11月17日(月)	・ 第2次尾張旭市男女共同参画プラン(素案)についての意見交換
第3回	平成26年 12月8日(月)	・ 第2次尾張旭市男女共同参画プラン(素案)についての意見交換
第4回	平成27年 2月12日(木)	・ パブリックコメントによる意見募集の実施結果についての意見交換 ・ 第2次尾張旭市男女共同参画プラン(概要版)についての意見交換 ・ 第2次尾張旭市男女共同参画プラン(素案)についての意見交換

平成27年度

回	開催日	内容
第1回	平成27年 7月27日(月)	・ 平成26年度男女共同参画プラン関連事業の進捗結果についての意見交換 ・ 平成26年度男女共同参画プラン関連講座等についての意見交換 ・ 平成27年度男女共同参画プラン関連講座等についての意見交換

尾張旭市男女共同参画審議会(第1期)委員

(敬称略、順不同)

	氏名	所属団体名等
会長	松田 照美	学識経験を有する者
副会長	岩田 敏子	その他市長が必要と認める者
委員	水野 稔夫	一般社団法人 尾張旭青年会議所
委員	岡崎 信久	連合愛知尾張東地域協議会
委員	奥村 紀代子	尾張旭市地域活動連絡協議会
委員	橋上 早苗	尾張旭市子育てサークル連絡会
委員	森島 一樹	社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会
委員	松原 圭子	尾張旭市地域婦人団体連絡協議会
委員	佐藤 正幸	尾張旭市小中学校PTA連絡協議会
委員	多川 光和	その他市長が必要と認める者
委員	松澤 裕子	その他市長が必要と認める者
委員	田辺 はる子	公募市民